「世界の陸屋根市場2022年－2031年：種類別（ビルドアップ、改質ビチューメン、EPDMゴム、熱可塑性ポリオレフィン、PVCメンブレン、金属）」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました

2022年12月28日
株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界の陸屋根市場2022年－2031年：種類別（ビルドアップ、改質ビチューメン、EPDMゴム、熱可塑性ポリオレフィン、PVCメンブレン、金属、その他）」調査資料の販売を2022年12月28日 に開始いたしました。陸屋根市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート
■レポートのタイトル：世界の陸屋根市場2022年－2031年：種類別（ビルドアップ、改質ビチューメン、EPDMゴム、熱可塑性ポリオレフィン、PVCメンブレン、金属、その他）
■英文タイトル：Flat Roofing Market （Type: Build-up, Modified Bitumen, EPDM Rubber, Thermoplastic Polyolefin, PVC Membrane, Metals, and Others） - Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends, and Forecast, 2022-2031
■発刊日：2022年12月5日
■出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）
■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容
陸屋根は、ショッピングモール、倉庫、百貨店、製造工場などの商業施設で一般的に使用されている屋根材です。これは、商業施設の規模が住宅に比べてかなり大きいことが主な理由です。平らな屋根は施工に時間がかからず、清掃が簡単で、降雨量の少ない地域には理想的な選択肢です

。また、エネルギー効率の高い屋根材でもあります。熱可塑性オレフィン（TPO）、エチレンプロピレンジエンモノマー（EPDM）、スプレーポリウレタンフォーム（SPF）が、エネルギー効率の高い陸屋根の3大選択肢となります。

建築分野は、陸屋根の主要なエンドユーザーであり、インド、中国、南アフリカなどの経済成長国において急速な成長を遂げています。都市人口の増加、生活水準の向上、可処分所得の急増などが、住宅・商業分野の成長を後押しする主な要因となっています。このため、今後数年間は陸屋根市場の発展が見込まれます。
平らな屋根は、住宅や商業施設に広く設置されています。これらの屋根には、EPDMゴム屋根、単層ポリマー屋根、改質アスファルト屋根、グリーンルーフなどがあります。これらの屋根は、耐久性と耐候性に優れています。また、メンテナンスが容易で費用対効果にも優れています。
近い将来、南アジアとGCC諸国における製造業の拡大が、陸屋根市場の成長に貢献すると思われます。工場の建設が増加し、産業用屋根材の需要が高まると予想されます。さらに、新興国におけるホテル、学校、病院、工業用建物などの非住宅用プロジェクトの急増が、今後数年間における金属製陸屋根の需要を促進すると推定されます。

陸屋根は、倉庫、企業構造物、小売センター、製造施設、百貨店、空港などの商業施設によく使用されています。この屋根は、柔軟性と実用性を兼ね備えた理想的な屋根です。この屋根は、その合理的な外観とメンテナンスのしやすさで人気を集めています。平らな面とシンプルなラインにより、完全に現代的なスタイルとなっています。
陸屋根は、シンプルなデザインと低価格の原材料が入手しやすいことから、非常に手頃な価格となっています。施工に必要な日数も2～3日と短く、最小限の労働力で済みます。アスファルト、EPDM、金属、熱可塑性樹脂などの屋根材は、いずれも耐久性に優れています。EPDMは、適切なメンテナンスを行えば、30年程度は使用可能です。発展途上国の一人当たりの所得が急増していることから、手頃な価格の屋根材への需要が高まり、市場の拡大が見込まれています。

最新の陸屋根市場動向によると、予測期間中、熱可塑性ポリオレフィンタイプのセグメントが業界を支配すると予想されています。同セグメントは2021年に31.8%のシェアを占め、予測期間中は平均年率5.9%を超える成長が見込まれます。
熱可塑性ポリオレフィン屋根材は、再生ゴムから製造されるため、比較的安価です。熱可塑性ポリオレフィンは、光を反射して低温を維持する。また、最低でも25年の寿命があります。

最新の陸屋根市場予測によると、厚さ60ミルのセグメントが2022年から2031年にかけて最大のシェアを占めると予想されています。同セグメントは2021年に34.9%のシェアを占め、予測期間中は6.1%の平均以上のCAGRで成長すると予測されています。屋根の寿命は、その厚みと極端な気象条件への曝露に依存します。厚さ60ミルの陸屋根は、20～30年の寿命を提供するため、需要が高い。

最新の陸屋根市場分析を詳しく見ると、2022-
2031年の間に住宅用エンドユーズセグメントが業界を支配しそうであることが明らかになりました。同セグメントは2021年に59.7%のシェアを占め、予測期間中に5.6%という平均以上のCAGRで成長すると予測されています。人口の増加は、住宅分野への多額の投資と住宅戸数の急増につながっています。また、世界各国の政府はインフラ整備に注力しています。

2022年から2031年にかけて、アジア太平洋地域が世界の陸屋根事業で最大のシェアを占めると予想されます。同地域は2021年に約45.8%のシェアを占め、予測期間中はCAGR5.7%で拡大すると予測されます。インドやインドネシアなどの発展途上国における住宅部門の拡大、中産階級の人口増加、一人当たりの所得の上昇が、同地域の市場統計を押し上げています。

■レポートの詳細内容はこちら
https://www.marketresearch.co.jp/data1/flat-roofing-market-type-build-up-modified-bitumen-epdm-rubber-thermoplastic-polyolefin/

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら
https://www.marketresearch.co.jp/contacts/

■調査会社Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について
https://www.marketresearch.co.jp/Transparency-Market-Research/
株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて
https://www.marketresearch.co.jp/
主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供
本社住所：〒105－0004 東京都港区新橋1－18－21
TEL：03－6161－6097 FAX：03－6869－4797
マーケティング担当 marketing@marketresearch.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com